

議 事 概 要

1. 日 時 令和5年2月8日(水) 10時00分～12時20分
2. 場 所 TKP 札幌カンファレンスセンター ベルヴュオフィス ホール2B
 (札幌市北区北7条西2丁目9)

3. 出席者

[座 長]

五十嵐 敏文 旭川工業高等専門学校 校長

[委 員]

伊東 佳彦 北電総合設計株式会社 土木部 部長

野呂田 晋 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 主査

有馬 孝彦 北海道大学 工学研究院 助教

[オブザーバー]

佐々木 博一 北海道開発局 建設部 道路建設課 課長補佐

山崎 秀策 土木研究所 寒地土木研究所 主任研究員

4. 議 事

- (1)検討会の設置について
- (2)事業概要について
- (3)創成川通周辺の土壌・地質特性について
- (4)土壌および地下水調査について
- (5)今後の検討事項について

【委員からの主な意見】

- ・沖積層におけるサンプリングは、経時変化による変色や析出物を生じることもあるため試料採取時には試料の状態を確認されたい。
- ・地下水の分析検体採取では濁り等の検体性状にも注意されたい。また、代表的地点での主要イオンの分析や酸化還元電位の測定も検討されたい。
- ・地下水位の変動が見られることから、自記水位観測結果なども含めて定常的な水位を整理されたい。

- ・礫層に対する溶出量試験は、土壤汚染対策法の試験法に基づいているため問題はないが、礫分が除外されている点を念頭に置かれない。
- ・砒素の分布状況と特徴を把握するうえで、地層の特徴ごとに調査結果を整理することで、対策対象や土量を合理的に評価できる可能性がある。また、地層毎の発生量・対策量についても検討されたい。
- ・盛土についても、代表的な箇所での溶出量試験の実施など、検討されたい。

【座長による総括】

- ・事前調査により、その一部において低濃度ではあるものの土壤溶出量基準値を超える自然由来の砒素を含む土砂が見つかり、そのため、今後、事業を進めるにあたり、周辺環境へ配慮しながら適切に対応していくことが重要となる。
- ・事務局より提案のあった追加調査計画(案)について妥当とする。
- ・頂いた意見を踏まえたうえで追加調査を進めていただきたい。